

授業科目(ナンバリング)	学際連携研究 (AD114)			担当教員	脇野幸太郎・小田和人・落合和昭・大町いづみ・梅野潤子・廣田昌彦・高崎伸也・相田美和・太田 智絵		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
テーマ：(他の専門分野・他職種等との) 連携 1. 本学に設置された 4 学科の専門分野の概略や課題について説明することができる。 2. 自分の専門分野と他の専門分野が連携することで広がる可能性について意見を言うことができる。 3. 与えられたテーマについてグループの一員として、発言、傾聴、検討する役割を担うことができる。 4. 専門や考え方の多様性について理解し、相互に認め合うことができる。							⑩
ホスピタリティを構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標					評価手段・方法	評価比率
専門力	本学の専門分野の概略を理解できる。					課題レポート	60%
情報収集、分析力	(1) 自分の専門分野だけではなく他の専門分野についての情報を意欲的に収集することができる。 (2) 他の専門分野との連携とその見通しについて意見を述べることができる。					課題レポート	40%
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価は各ユニットに対してレポートを課し、合算した点数により科目の成績とする。レポートのテーマや提出方法、フィードバック等については、各担当教員により授業内で指示する方法により行う。							
授 業 の 概 要							
本学 4 学科の専門分野の構成と研究アプローチの視点、社会的な活用状況、活躍する分野、課題についてユニット毎に概説し、分野間の連携事例等を提示し、専門分野に対するモチベーションや課題意識の向上を図る。 また、専門職連携で活躍する外部講師の話を聞き、実社会で連携する場合の可能性や課題等について理解を深める。 ユニット毎に学際連携に関するテーマでレポートを課す。 この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分である。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：特に指定しない。 参考書：特に指定しない。 指定図書：各担当教員により授業中に指示する。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
・日頃から新聞・ニュース等を見聞きし、実際の地域の経済・文化・医療・福祉など「いのち、健康、暮らし」にまつわる情報や課題について関心を高めておく。 ・専門の異なる他学科の学生と交流することで、多様性を理解し、幅の広い視野を持つようにする。 ・学科間の結びつきや学問と職業のつながりを意識することで、卒業後に職業人として活躍することや専門職で連携をとることの意味を理解する。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予習・復習
1	オリエンテーション	・コーディネータにより科目の目的、授業の進め方、受講する心構え、評価について説明する。 ・学長またはその代務者により、学際連携の意義や社会的な重要性、本学の可能性について講義する。	観光関連の書籍などを読み、次回の授業関連部分を予習すること。
2	《国際観光学科》 観光とは	「観光」とは何か、そこで働く意義を通じて、観光に関する知識を深める。(落合)	どうしたら観光業が働き甲斐のある職場になるか manaba に投稿する。
3	《国際観光学科》 観光におけるホスピタリティとは	観光においてホスピタリティの重要性は極めて高い。その特性や事例紹介を学び、現状や影響について理解する。(落合)	「観光のホスピタリティを高めるには」について manaba に投稿する。
4	《国際観光学科》 ユニバーサルデザイン観光とは	バリアフリー観光からユニバーサルデザイン観光への進化を学び、具体的な事例などをもとに、その意義や普及に関して考察する。(落合)	ユニバーサルデザインが普及するためには何が必要か manaba に投稿する。
5	《社会福祉学科》 認知症を理解する―地域で支えるとは―	人間の脳の働き、認知症の症状を示す代表的な疾患と認知症の症状について事例を通して学び、制度と支援の可能性について考える。(大町)	復習：認知症を取り巻く制度と支援のあり方について今後の社会変化を予測して考察する。
6	《社会福祉学科》 貧困とは―生活保護制度について―	現在の日本の貧困・生活困窮の実態について事例を通じて考察するとともに、貧困救済のための生活保護制度の基礎について学ぶ。(脇野)	復習：日本の貧困の実態について、事例を踏まえ考察する。
7	《社会福祉学科》 子どもの権利と暮らしの支援―児童福祉論入門―	社会福祉の一領域である児童福祉に着目し、子どもの権利の歴史や権利条約、それを護るための暮らしの支援の実践について学ぶ。(梅野)	復習：子どもの権利とそれを護るための支援について考察する。
8	外部講師・ゲストスピーカーによる講話 1	観光や福祉分野で活躍する外部講師やゲストスピーカーにより実社会の現状や課題について話を聞く。	
9	《健康栄養学科》 食事バランス	食事バランスガイドを基に、食事のバランスについて学び、その量・質的偏りによる体への悪影響(生活習慣病など)を知り、その悪影響への地域の疾病対策について考える。(小田)	食事バランスガイドについて調べ(予習)、食生活をチェックする(復習)。
10	《健康栄養学科》 からだの中の SDGs	SDGs が社会的関心を集めている。からだの中でも、健康寿命の延長をめざして多くの SDGs 的戦略が展開されている。持続可能な体内環境を保つための「からだの中の SDGs」としてどんなことが行われているのかを探る。(廣田)	どんな SDGs がありそうか考えてみる。
11	《健康栄養学科》 スポーツ・運動時の食事	スポーツおよび健康のための運動において、栄養・食事の果たす役割の大きさと重要性が認識されている。今回は、競技スポーツ実践者や心身の健康維持・増進のために運動を行っている者がどのような食事や栄養素を摂る必要があるか考える。(小田)	運動種目の違いにより、食事の摂り方がどう異なるか調べておく。
12	《薬学科》 健康診断の検査値の読み取り方	健康診断の検査値の読み取り方をそのもととなるからだの仕組みから検査値が変化する仕組みまで学ぶ。(高崎)	健康診断で目にする検査項目を調べておく。
13	《薬学科》 飲酒について	日本では 20 歳以上の飲酒は認められている。過度の飲酒が引き起こす不利益を学び、アルコールとの上手な付き合い方を考える。(相田)	飲酒について、自分が留意すべきことを考えてみる。
14	《薬学科》 生薬、漢方薬とは	漢方薬は、近年その効果が科学的にも明らかになってきており、医療現場での導入も広がっている。本授業では、漢方薬を構成する生薬や漢方薬について学ぶ。(太田)	身の回りにある生薬、漢方薬について調べておく。
15	外部講師・ゲストスピーカーによる講話 2	健康栄養や薬学分野で活躍する外部講師やゲストスピーカーにより実社会の現状や課題について話を聞く。	